

学校名	表彰対象者・団体	功績
東京藝術大学音楽学部 附属音楽高等学校 ／栄区在住	中谷 哲太郎	第77回全日本学生音楽コンクール全国大会 バイオリン部門中学生の部 第1位
<p>私は生まれたときから、3つ年上の姉と港南台にあるヴァイオリンの教室に通っていました。3歳頃から楽器を弾き始め、沢山の曲を楽しく弾いているうちに、ヴァイオリンのある生活が当たり前になり、音楽家になりたいと思うようになりました。将来はクラシック音楽の本場であるヨーロッパで勉強し、自分の心を表現できる音楽家になりたいです。そして、多くの人の幸せや平和につながる活動ができたらと思っています。</p>		
		
横浜栄高等学校	渡辺 桃加	第78回国民スポーツ大会 飛込競技 少年女子高飛込、少年女子飛板飛込 出場
<p>小学校3年生のとき、この飛込競技に出会いました。飛込競技は着水までのわずか2秒弱という短い時間で戦う競技です。限られた時間のなかで様々な技を行い、評価点によって順位が決まります。私は今年怪我の影響もあり、技の難易度を下げて試合に出場しました。来年は、より高い難易度の技で戦えるように練習します。支えてくれた家族やコーチ、チームのメンバーに感謝して、これからも頑張っていきたいです。</p>		
金井高等学校	高嶋 元保	第71回NHK杯全国高校放送コンテンツ 全国大会 出場
<p>彼は今年卒業した47期生が去年NHK放送コンクール全国大会に出た際に、「自分も来年は（Nコン全国大会に）出ますよ。」と言っていたのが印象に残っています。※実はその47期生ですが、昨年同栄区の子ども青少年スポーツ・文化活動表彰をいただいております。その時は冗談交じりだったのかもしれませんが。「そうか、覚えておくよ。」と言った覚えがあります。果たして、彼は約束を守りました。そして今後「声の仕事に就きたい」と言っています。放送部に入った頃は、それほど本気では無かったのかもしれませんが。しかし先輩たちの姿を見、部員たちと切磋琢磨していくうちに、どんどん朗読が楽しく上手くなっていったと思います。また、彼のその姿を見て後輩たちも「わたしも全国大会に出たい」と言っています。彼の本気に今後も期待して応援していきたいと思います。</p>		
		
山手学院高等学校	桐生 さくら	第42回全国高等学校弓道選抜大会 女子個人の部 出場
<p>高校から弓道をはじめ、週3回の練習を重ねて全国大会に出場することができました。弓道で得た集中力や体力、そして礼節と精神力は私を大きく成長させてくれました。この経験を活かし、これからも精進を続けたいと思います。ここまで支えてくれた先生方、先輩方、仲間たちに心から感謝します。</p>		
山手学院高等学校	蒲地 陽哉	第42回全国高等学校弓道選抜大会 男子個人の部 出場
<p>高校一年生から弓道を始めて、稽古は少ないながらも楽しく活動してきました。普段の稽古や試合でうまくいかないことがあっても、アドバイスを励ましなどに支えられたことが多々ありました。全国大会に出場することができたのは、周りの力あってこそだったと思うので、顧問の先生や部員たちには本当に感謝しています。</p>		